

今日のキーワード「季節予報」は、暖かい秋（日本）

気象庁は先行き1カ月、3カ月を対象に大まかな天候を予想し、「季節予報」として発表しています。今年の10～12月の予報によれば、東日本、北日本は高めの気温が予想されます。西日本は平年並みです。注目されるのはラニーニャ現象（エルニーニョ現象とは逆に赤道周辺の海水温度が低下）が発生していると見られることです。ラニーニャが進行すると、日本の気温は高めになる傾向があります。

ポイント1 台風被害、長雨で野菜価格が上昇 今後は徐々に沈静化の見通し

■北海道、東北を襲った台風や長雨の影響により、野菜価格が上昇しています。独立行政法人「農畜産業振興機構」が9月20日に発表した、「野菜の需給・価格動向レポート」によれば、9月時点の価格は殆どの野菜で平年を上回っています。ただし、台風後は天候の回復もあり、今後の野菜価格は、依然として平年値を上回るものの、ピーマンを除き、キャベツ、玉ねぎ、はくさい、レタスなどでは値下がりが見込まれるようです。

ポイント2 秋の「季節予報」は、例年より暖かい 猛暑に引き続き気温は高め

【気象庁 10～12月の予報】

■気象庁は9月23日に「季節予報」を公表しました。それによれば10～12月の天候は、東日本では10月が気温が高く、11月、12月はほぼ平年並みの予報です。北日本では北からの寒気の影響が小さく、向こう3カ月とも平年並みか高い見込みです。

■西日本に関しては、10月の気温は高いものの、12月については、大陸からの寒気の影響を受けやすく、平年並みか、低めを予想しています。降水量に関しては、北日本が平年並みか多い予想ですが、その他の地域は、ほぼ平年並みとなっています。

		平均気温 (3カ月)	降水量 (3カ月)
北日本	日本海側	平年並か高い	平年並か多い
	太平洋側		平年並か多い
東日本	日本海側	平年並か高い	ほぼ平年並
	太平洋側		ほぼ平年並
西日本	日本海側	ほぼ平年並	ほぼ平年並
	太平洋側		ほぼ平年並
沖縄・奄美		ほぼ平年並	ほぼ平年並

（出所）気象庁の資料を基に三井住友アセットマネジメント作成



今後の展開 ラニーニャ現象が発生

■気象庁は9月9日に、ラニーニャ現象が発生していると見られる、との発表を行っています。ラニーニャは、エルニーニョとは逆に、南米ペルー沖から太平洋中央部の海水温度が通常より下がる現象です。これが発生すると、日本の気象に関連する、インドネシアやフィリピン沖の海水温は逆に高くなります。

■このため、ラニーニャが発生すると、太平洋高気圧が強まる可能性が高まります。エルニーニョと比べ、ラニーニャはさほど大きな気象変動を起こさないと言われていますが、今後の動向が大いに注目されます。

ここも チェック！

2016年9月12日 「街角景気」は2カ月連続で改善（日本）
2016年8月31日 今年の夏は「猛暑」（日本）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。